

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2026年10月1日木曜日 21:16
宛先: [REDACTED]
件名: RE:『SONY』への公開質問状

ソニーグループ株式会社
代表執行役 社長 CEO 十時 裕樹 様
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
ビジネス推進部門
副部門長 [REDACTED]
CX推進部部長 [REDACTED]

今朝、9時半ごろ電話受付の方に、十時社長に伝言をお願いいたしました。

「**本件に関する対応や対話を打ち切った事実は一切ございません。**」

を確認致しました。

メールせずに訴訟手続きに入ろうとも思いましたが、とりあえず確認のメールを差し上げて良かった様ですね？！

私は最近の方の思考が理解できません。

7月21日に1～2週間間隔でキャッチボールをしていた相手から、9月末迄返球が無くても、あなた方は待ち続けるのですか？

「既読スルー」と言う言葉がありますが、少なくとも話し合い中の相手に対しては、話し合いの間隔を踏まえて、相手方にはその間隔以上時間を必要とする旨の目途を伝えることが、最近の方は必須だと認識して頂く必要が有ろうかと思えます。

法務省が民法上の不法行為に対する損害賠償に関する議論をようやく始めるようです。

<https://x.gd/HPRT0B>

今回の事件もいかに私の時間を浪費させたか他、更に「『SONY』への公開質問状<https://x.gd/TTXky>」の4項目の目的も十分検討されましたでしょうか？

目途を明らかにして頂ければ、前記のとおり私が納得できる内容に整える時間が必要であれば、10月7日(水)迄の期限は訴訟手続き開始を考慮しての期限でしたので、この期限にはこだわりません。

以上

湯澤秀昭

[REDACTED]

From: [REDACTED]
Sent: Thursday, October 1, 2026 6:24 PM
To: [REDACTED]
Subject: RE: 『SONY』への公開質問状

湯澤様

[REDACTED] でございます。

2026年9月30付けでメールを拝受いたしました。

まず、7月21日のメール以降、弊社からのご連絡にお時間を要しておりましたことにつきまして、ご不安ならびにご不快な思いをおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

お問い合わせいただきました「本件の対応を一方的に打ち切ったのではないか」という点につきまして、弊社としての認識をご回答申し上げます。

弊社において、本件に関する対応や対話を打ち切った事実は一切ございません。

先般の7月19日のご面談でお伺いいたしましたご意見およびご指摘事項を踏まえ、社内における確認・検討ならびに必要な対応手続きを継続して進めていたものでございます。本件に関しましては、我々が継続して対応を行ってまいります。

準備が整い次第、改めましてご連絡を差し上げますので、誠に恐縮ではございますが、ご連絡いただいた期日までに回答いたしますので、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

取り急ぎ、対応が打ち切られていない旨の確認と、現状のご連絡を申し上げます。

From: [REDACTED]
Sent: Wednesday, September 30, 2026 10:50 PM
To: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]
Subject: RE: 『SONY』への公開質問状

ソニーグループ株式会社

代表執行役 社長 CEO 十時 裕樹 様

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社